



出張!江戸東京博物館

館外展示
Exhibition in other locations,
"Visiting Exhibition by the Edo-Tokyo Museum"

江戸東京博物館は、江戸東京の歴史と文化をふりかえり、未来の都市と生活を考える場として平成5年(1993)3月28日に開館しました。開館から約30年が経過した現在、大規模改修工事のため、令和8年(2026)春まで休館の予定です。そのため、昨年度に引き続き、現在ご覧いただけない常設展示室の一部を上野の東京都美術館で展示することとなりました。

本展では、江戸博コレクションや常設展示でおなじみの人力車をはじめとする体験模型を展示します。また特集展示として、開催場所である上野の歴史についても紹介します。多彩な江戸博コレクションをご覧いただき、江戸東京の歴史と文化を体感していただけますと幸いです。

2階

特集展示 移りゆく上野の風景



寛永2年(1625)に寛永寺が創建されると、「上野の山」には寛永寺の寺域が広がり、低地の山脚下や下谷広小路は寛永寺の門前町として繁栄しました。その後、幕末の上野戦争で焼失した寛永寺の跡地に上野公園が開園すると、博覧会や展覧会の会場として日本の産業や文化を発信してきました。また鉄道敷設と上野駅の開業により、上野は交通の要所としても位置づけられ、山脚下や下谷広小路は人びとが集まる有数の繁華街となりました。

特集展示では、上野の歴史や風景の変遷について錦絵や絵葉書などから紹介します。時代の変化とともに移り変わる上野をお楽しみください。



「名所江戸百景 下谷広小路」
歌川広重/画 安政3年(1856)9月



「東京上野鉄道気車出発之図」井上安治/画 明治時代 19世紀



1階

文明開化と生活の変化

体験模型

東京ゾーンの〈文明開化東京〉と〈産業革命と東京〉から、生活の変化と人力車などの乗り物について紹介します。



人力車(複製) 明治時代



「東京海運橋三ツ井組第一国立之銀行ハウス之図」(パネル) 歌川芳虎/画 明治時代前期



第一国立銀行(模型・部分)
復元年代: 明治時代初期

1B階

都市江戸の風景と人々の生活

江戸ゾーンの〈江戸城と町割り〉、〈町の暮らし〉、〈江戸の商業〉から、江戸城や人びとの暮らしを紹介します。



「旧江戸城写真ガラス原版 大手門」(パネル)
横山松三郎/撮影 明治4年(1871)



「江戸の花子供遊び 一番は組」(パネル)
歌川芳虎/画 安政5年(1858)7月



「寿司屋の屋台」

再現模型



「東都名所 高輪二十六夜待遊興之図」(パネル) 歌川広重/画 天保12~13年(1841~1842)頃